

BOULDERING

SPEED

LEAD

登れた本数を競う
ボルダリング

ヤコフ・
シューベルト選手
(オーストリア代表)

清水裕登選手
(日本代表)

高さを競う
リード

速さを競う
スピード

ジェシカ・ピルツ選手
(オーストリア代表)

特集 さあ、手を伸ばそう！ クライミングパークで楽しさ発見

頭と体を使って頂上まで登ると、いつもと違う景色と達成感。当市には初心者から世界トップ選手までが利用できる施設があり、スポーツクライミングのまちを目指してさまざまな取り組みを進めています。人気急上昇中のスポーツクライミング。その魅力を知り、あなたもぜひ登ってみませんか。



白石阿島選手
6歳からクライミングを始める。アメリカ代表として活躍し、人気を集める高校生クライマー。



屋根もあってホールド数も多く、とても充実している施設。これほどの施設は数少ないので、地元子どもたちにも選手を目指して頑張ってもらいたいですね。



清水裕登選手
えひめ国体成年男子リード競技の優勝メンバー。日本代表にも選出されている。



10月13日開催のクライミングフェスタに参加した各代表選手に、クライミングの魅力やパークの印象を聞きました。

代表選手の声



石鎚クライミングパークSAIJO
昨年(2017)のえひめ国体の山岳競技会場。本年5月、JOC(日本オリンピック委員会)から競技別強化センターに認定。10月にはスピード競技場(写真左)が完成しました。

スポーツクライミングは人工のホールドを使用した競技で、ボルダリング・リード・スピードの3つの種目があります。東京オリンピックの正式種目として追加され、日本人選手も世界大会で上位に入るなど、今人気を集めているスポーツの一つです。

当市にある「石鎚クライミングパークSAIJO」は先述の3種目が全てそろった国内有数の施設です。スポーツクライミングは通常、各種目で優勝者を決定しますが、東京オリンピックでは3種目の総合力を競う「コンバインド」という形式をとるため、3種目そろった施設はとても貴重。日本だけでなく世界からも注目を集めています。一般の利用者も多く、幅広い世代にスポーツクライミングが親しまれています。



今、クライミングが熱い！

丹原高校スポーツクライミング部始動

今春、県内で初めて丹原高校に創設されたスポーツクライミング部。現在は1年生の部員4人で活動中。チームをまとめる主将の加地さんに、チームのことについて質問しました。

——練習中に心掛けていることは？
 楽しむことですかね。第一に楽しくなかったら面白くないので。
 ——チームの雰囲気や課題は？
 みんな楽しんでるし、やる時は集中している。ほかの人の登りを見てアドバイスもしてます。ただ先輩がいなくて、今後に残すためにもしっかりしたチーム作りが課題。



主将 加地未来さん

スポーツクライミングをするために丹原高校へ入学。四国中央市から毎日片道約2時間かけて通学し、部活と勉強の両立に励んでいる。



◀「考えて登り、頂上にたどり着くことはすごく達成感がある」と谷崎さん



楽しみながら励んでいます



丹原高校スポーツクライミング部
 左から日野航汰さん、佐伯瞭真さん、谷崎勇太さん、加地未来さん



▲クライミングに挑戦して約半年の日野さん



▲少しずつ難しいコースに挑戦していきたいと意気込む佐伯さん



◀学校に設置した壁

▲代表選手との交流も

——メンバーのクライミング歴は？
 僕は約1年です。僕と谷崎くんが経験者で、ほか2人は今年からです。

——練習はどのように？
 月・木曜日は、学校にある壁を使っているの練習や、ランニングなどの基礎体力作り。日曜日は大会がなければ休み。それ以外の日はクライミングパークで練習しています。基本はボルダリングとリード。コースも自分で決めて練習します。サボっていると次の大会の成績に表れて、成果が分かるスポーツですね。国体出場経験もある松本雄太郎さんが指導してくれれます。僕たちから登り方やケアの方法など、いろいろなことを気軽に聞いています。

——学校にも壁があるんですね。
 傾斜がきついんですよ。松本さんが設置してくれたコースがあつて結構しんどいです。

——練習中に心掛けていることは？
 楽しむことですかね。第一に楽しくなかったら面白くないので。

——チームの雰囲気や課題は？
 みんな楽しんでるし、やる時は集中している。ほかの人の登りを見てアドバイスもしてます。ただ先輩がいなくて、今後に残すためにもしっかりしたチーム作りが課題。

——5月には、創部早々大会にも出ましたね。
 国体予選だったのでむちゃくちゃ難しかったです。今後頑張らないといけないって思いました。約半年で大会に5回出場し、中四国大会も経験しました。雰囲気にも慣れて、少しずつ実力を発揮できるようになってきました。

——チームの目標は？
 最終目標の国体出場を目指して頑張ることです。そしてチームみんなでクライミングを楽しむことを忘れずに活動していきたいです。

——来年には後輩ができるかもしれませんね。
 ほかの部活より自由度が高い。運動が苦手でもすぐなじめるし、自分のペースでできて成果が出る。ぜひ入部してほしいですね。

つながる友好関係



盆裁をきっかけにつながり始めた当市とオーストリア共和国。10月にオーストリア代表選手が当市で合宿を行うまでの経緯や、滞在中の様子などを紹介します。

交流のはじまりと進展

当市とオーストリア共和国との交流が芽生え始めたのは平成15年。同国セーバーデン市にある「盆裁ミュージアム」に当市出身のスタッフがいたりすることなどがきっかけでした。国内でも有数のクライミング専用施設を持つ当市では、スポーツクライミング強豪国であるオーストリア代表チームの東京オリンピック事前合宿を通して、交流のさらなる発展や促進につながると考え、視察や協議を重ねていきました。

ホストタウン決定、そして来西へ

今年の4月に、当市は東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるオーストリア共和国のホストタウン(※)に登録。5月にはオーストリアクライミング協会最高経営責任者のハイコ・ウエルヘルム氏が当市を訪問。ウエルヘルム氏は「設備が充実し、穏やかな環境でいい調整ができそうだ」と評価し、その後、10月開催のスピード競



視察するウエルヘルム氏(右)

技場完成セレモニーへのオーストリア代表チーム参加や、日本代表選手との合同合宿が決定しました。

西条を沸かせたオーストリア代表

10月12日〜18日のセレモニーや合宿には、オーストリアから選手など15人が参加。世界トップレベルの技術を披露したデモンストレーションや、観客との記念撮影などが行われました。滞在中は、西条まつりの見学、丹原高校訪問などクライミング以外での交流も。7日間過ごした選

さらなる友好関係へ

オーストリア共和国との架け橋であるスポーツクライミング。当面の目標は東京オリンピックの事前合宿地の決定です。今回の来西は、ここへ近づく大きな一歩となりました。この経験を踏まえ、今後も宿泊や食事など総合的な受け入れ態勢の確立に向けて取り組みを進めます。

※大会の開催を契機に、事前合宿誘致などを通じて参加国との人的・経済的・文化的な相互交流を行うことで、地域の活性化を推進する取り組み。



▲10月13日開催のイベントクライミングフェスタ



▼丹原高校訪問(多肉植物制作体験など)



▲日本代表との合同合宿

西条で過ごした7日間



▲和食を堪能しました

クライミングパークは十分なレベルの練習環境でした。海があるきれいな景色を見られたのも非常にいい経験で、今度来たときは海をボートで渡ってみたいです！



ヤコブ・シューベルト選手



ジェシカ・ピルツ選手

皆さんが歓迎してくれる姿勢がとても印象的でした。滞在中は快適に過ごすことができ、体の調整や精神面の準備をするにも十分な環境だと思います。

さあ、登ってみよう！

ISHIZUCHI
CLIMBING PARK
SAIJO

西条西部公園にある石鎚クライミングパークSAIJOでは、初めての方でもその日から壁に登ることができます。初心者向けの教室やクラブの活動もあるので、気軽にチャレンジしてみましょう。

教室・クラブのご紹介

クライミング教室

基礎を教わりたい方へ！

●初心者向け

対象 小学1年生以上
(小中学生は保護者同伴)
日時 12月3日(月)、6日(木)、10日(月)、
13日(木) 18時~19時30分

内容 楽しく体を動かし、クライミングの基礎やルールを学ぶ。

定員 各10人程度

●高齢者向け

対象 65歳~75歳程度
日時 12月3日(月)、10日(月)
9時~10時30分

内容 健康維持の講習も交えながら、はしごを登る程度の難易度からクライミングを楽しく体験。

定員 各10人程度

申込・問合せ(共通)

市庁舎新館2階スポーツ健康課
Tel.0897-52-1255

1月以降も
開催予定

西条市クライミングクラブ

本格的にやりたい方へ！

活動日時 毎週火・木曜日
18時~21時45分

活動内容 愛媛県山岳連盟の指導者のもと、練習を行います。

会費 3,000円(入会金)
2,000円(年会費) ※特典あり

注意事項

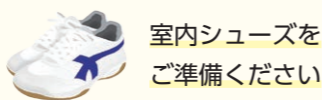
○中学生以下のみでの加入は不可。保護者同伴をお願いします。

○施設の利用料金は自己負担です。

問合せ 藤村 Tel.080-5668-1594



初めての方へ/ 利用までの流れ



室内シューズを
ご準備ください

大会などの予約が入っていない日であれば、予約不要で利用できます。(中学生以下は保護者などの同伴が必要)



西条西部公園に到着したら、まずはスポーツコミュニティセンターの受付へ。



必須

危険を伴うスポーツのため、管理人から使用上の説明を受け、注意事項のビデオを見ましょう。



受付で誓約書などを記入し、申請。カードが発行され、次回以降は受付がスムーズにできます。



競技場に移動し、準備運動をしてから登り始めましょう。ルールを守って楽しんでください！



藤村和久さん

西条市山岳協会会長。西条市クライミングクラブの代表や指導も務める。

まずはやってみよう！

クライミングは回数をこなせば成長する競技。力がない女性でもちょっとした体の使い方ですることが出来ます。私は指導者として活動しており、声を掛けていただければ、アドバイスや指導をします。石鎚クライミングパークSAIJOでお待ちしています。

施設の利用方法や料金など詳細は、問い合わせるか市ホームページをご覧ください。

競技説明の動画も掲載▶



問合せ ○パークの利用方法などについては…

スポーツコミュニティセンター Tel.0897-57-9383

○その他スポーツクライミングに関することは…

市庁舎新館2階スポーツ健康課 Tel.0897-52-1255

クライミング、楽しんでいます！

少し体を動かしたい人、本格的に競技したい人など、いろいろな方が石鎚クライミングパークSAIJOを利用しています。利用者の皆さんにインタビューしてみました。



体全体を動かさず
すぐリフレッシュ
できて楽しいです！

左から今井朋花さん、佐藤志穂さん、宮原瑞姫さん、高橋妃花さん、大内紗月さん

子どもと一緒に楽しみながら
クライミングをしています。



左から小松佐和子さん、晃太郎さん

難しいコースは2人で
相談しながら登っています！



左から黒光侏さん、穂さん

初めて来ました。
登りきるまで毎週
通います！



左から黒住拓彦さん、八木勇弥さん、水本達也さん、石本大志さん

仕事終わりの楽しみ！



曾我部靖幸さん

何回もチャレンジして
完登できたときはめっちゃ
めっちゃうれしいです！



左から弓山公彦さん、祭雅さん、夏美さん、勘助さん

ゴールしたときは
すごくうれしいです！



新川天斗さん

自分で考えながら楽しんで
取り組めるスポーツです。



左から浅川深雪さん、惺礼さん